

平成 27 年度 中濃支部研修会 活動報告

日時：平成 27 年 12 月 14 日(月) 18:30～20:30

場所：木沢記念病院 中部療護センター

方式：症例検討 2 題 症例報告 1 題

演題名：①「頭部外傷により高次脳機能障害を呈した症例」

老人保健施設 花ピア可児 山本 悠 先生

②「右視床出血を発症し、最終的に歩行獲得を希望される症例について」

東可児病院 リハビリテーション科 三輪 哲也 先生

③訪問リハビリテーション症例報告「再び俳句会に参加できるまで」

東可児病院 リハビリテーション科 森 久実衣 先生

寒さがひとしお身にしみる頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。
今回の中濃支部研修会は、症例検討会として行われました。平日、業務終了後の開催でしたが、45名の支部会員が参加されました。



今回の演題は、急性期・老健・訪問リハビと多岐にわたり、様々な視点からの理学療法の考え方や理学療法士の関わり方を発表から学び、感じることができる内容だったと思います。今回も検討課題に対して小グループで意見をまとめ、それぞれ発表しました。時間の関係上、1 演題につき検討時間が 10～15 分程度とかなりタイトスケジュールでしたが、若い先生方が手際よくグループをまとめる姿には感心しました。

また、今年度初めての中濃支部研修会ということで、新入会員の自己紹介が行われました。12 月になって「はじめまして」は少し寂しく、もっと支部会の交流機会が増えると良いですね。



最後になりましたが、症例発表を行って頂いた山本先生、三輪先生、森先生ありがとうございました。また、いつも会場設営をして頂ける木沢記念病院の先生方に感謝の意を申し上げます。

中濃支部広報部 可児・加茂地区担当

可児とうのう病院 リハビリテーション科

加地 寛